

2015年度 工学部情報システム創成学科教育課程表 (2006年度から2008年度入学者に適用)

(学年は標準年次を示す)

		1年次				2年次				3年次				4年次				卒業要件 単位数						
		1セメスター		2セメスター		3セメスター		4セメスター		5セメスター		6セメスター		7セメスター		8セメスター								
		授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目		単位	担当者				
基礎科目	必修科目	幾何学 I 物理学概説	04 04	小林 林田	情報処理演習 I △物理学概説 △幾何学 I 物理学実験 I	01 04 04 01	日比野 清水 山崎 *6	△情報処理演習 I △物理学実験 I	01 01	江口 小林	△情報処理演習 I △物理学実験 I	01 01	小林 有働 相澤 小谷								10			
	選択必修科目	微分積分学入門 微分積分学 I	×4 ×4	何森 永野	微分積分学 I △微分積分学入門 微分積分学 II △微分積分学 I	×4 ×4 ×4 ×4	矢島 鈴木(友) 鈴木(友) 矢島	△微分積分学 I △微分積分学 III △微分積分学 II △微分積分学 III	×4 ×4 ×4 ×4	永野 永野 鈴木(友) 永野	微分積分学 III △微分積分学 II 微分積分学 III △微分積分学 III	×4 ×4 ×4 ×4	永野 鈴木(友) 鈴木(友) 永野								12			
	選択科目				幾何学 II 物理学 A	4 2	小林 佐々木	微分方程式 I 物理学 B 化学実験 △物理学 A △幾何学 II	2 2 1 2 4	山崎 大町 相澤 岩倉 石田 相澤	微分方程式 II 物理学 III 化学実験 △物理学 B	2 2 1 2	山崎 大町 松田 岩倉 石田 相澤	基礎化学 I 基礎化学 II	2 2	亀山 岩倉 矢崎	基礎化学 II	2	亀山 岩倉					
専攻科目	必修科目	コースワーク I ファーストイヤー セミナー II	01 02	頼古沢 秋吉 藤岡 秋吉 内田 西澤	コースワーク II コースワーク III コースワーク IV	02 01 01	藤岡 秋吉 吉田 今井 進藤 奥野	工学基礎演習 I 工学基礎演習 II コースワーク III コースワーク IV 国際コミュニケーション I プログラミング演習 I	01 01 01 01 01 01	杉本 秋吉 井手 熊谷(亘) 桑野 今井 進藤 奥野	工学基礎演習 II コースワーク IV コースワーク IV 国際コミュニケーション II 技術者倫理 プログラミング演習 II △プログラミング演習 I	01 01 01 01 01 01	今井 内田 井手 熊谷(亘) 桑野 頼古沢 内田 藤岡 井手	工学特別演習 I コースワーク V 国際コミュニケーション III 知的財産権 △プログラミング演習 II	01 01 01 02 01	*3A 杉本 西澤 藤岡 *1 三品 *4	工学特別演習 II コースワーク VI 国際コミュニケーション IV 環境学	01 01 01 02	*3B 今井 西澤 奥野 熊谷(亘) *1 杉本				24	
	選択必修科目																					8		
	選択科目	A群 (情報環 工学) B群 (最適化 科学) C群 (知能社会 システム)			離散数学 OSと言語処理系 計算機基礎 知識システム マルチメディア 計算幾何学	2 2 2 2 2 2	[休講] 藤岡 瀬古沢 [休講] [休講]	アルゴリズムとデータ構造 マルチメディア 計算幾何学	2 2 2	藤岡 瀬古沢 今井 奥野	ネットワーク工学 ソフトウェアエンジニアリング ヒューマンインタフェイス 数値情報処理	2 2 2 2	今井 萩原 [休講] 内田 奥野	データベース シミュレーション工学 画像工学 制御システム	2 2 2 2	前田 佐竹 根岸							10 8 10	
関連科目				情報と倫理 情報と職業 応用数学 I	2 2 2	前田 古川	代数学概論	2	伊東	代数学 I 関数論 I 量子物理学 I 統計物理学 I	2 2 2 2	東川 勝野 勝野 儀我 西野 客野	代数学 II 関数論 II 応用数学 II 量子物理学 II 統計物理学 II	2 2 2 2 2	東川 勝野 勝野 儀我 西野 客野	商法概説 I 労働法	2 2	板垣 坂本	商法概説 II	2	板垣			

*1 エバンス, 名生, ローソン *2 森田, 秋吉, 西澤, 藤岡, 井手, 熊谷(亘), 桑野 *3A 秋吉, 今井, 内田, 進藤, 杉本, 瀬古沢, 西澤, 藤岡, 森田, 吉田, 中島, 中易, 松井, 松浦, 松丸, 奥野, 井手, 熊谷(亘), 桑野, 森
*3B 秋吉, 今井, 内田, 進藤, 杉本, 瀬古沢, 西澤, 藤岡, 森田, 吉田, 中島, 中易, 松井, 松浦, 松丸, 奥野, 井手, 熊谷(亘), 桑野, 森
*4 森田, 西澤, 奥野, 井手, 熊谷(亘) *5 秋吉, 今井, 内田, 進藤, 杉本, 瀬古沢, 西澤, 藤岡, 森田, 吉田, 奥野, 井手, 熊谷(亘), 桑野 *6 西野, 相澤, 小原, 白井

【備考】

- 印は必修科目，×印は選択必修科目を示す。
- △印は再履修授業科目を示す。
- ☆印は本年度にセメスターを変更した科目を示す。

【履修要件】

- 上位年次の授業科目は履修できない。ただし、基礎科目、関連科目については2年次からこの制限を設けない。また、在籍年次の科目の再履修クラスに限っては、上位年次で開講されていても履修できるものとする。
- 1年間に履修登録できる単位数は、48単位を上限とし、かつ各セメスターに履修できる上限は26単位とする。ただし、第二外国語、選択英語、卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目及び教職課程の「教職に関する科目」については、この制限を適用しない。
- 他学部他学科開講の授業科目を履修する場合は、受講者数に制限がある。情報システム創成学科のクラス担任者と授業科目の担任者の許可が必要である。
- 受講するクラスが指定されている授業科目は、授業時間割表の指示に従って受講すること。
- 「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」と「卒業制作Ⅰ・Ⅱ」のどちらかを選択すること。これら科目の選択にあたっては、所属研究室の指導教員の許可を得て選択すること。
- 「プログラミング演習Ⅰ・Ⅱ」「工学特別演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」及び「卒業制作Ⅰ・Ⅱ」については、それぞれの先行科目(ローマ数字の値が小さい科目)の単位を修得している場合に限って、後続科目の履修を許可する。
- 「微分積分学入門」の履修は「微分積分学Ⅰ」及び「微分積分学Ⅱ」の未修得者に限る。ただし、「微分積分学入門」を再履修することは認める。

【進級要件】

卒業要件単位数に算入されない各種課程に関する科目及び教職関連科目の単位数は総単位数に含めない。

- (1年次から2年次)
- 1年次終了までに、「FYS」の単位を含め、専攻科目のうちの基礎科目と必修科目及び外国語科目から15単位以上を修得していなければならない。
- (2年次から3年次)
- 2年次終了までに、「ファーストイヤーセミナーⅡ (FYSⅡ)」「工学基礎演習Ⅰ・Ⅱ」の単位を含め、総単位数で62単位以上を修得していなければならない。
- (3年次から4年次)
- 3年次終了までに、「工学特別演習Ⅰ・Ⅱ」及び「コースワークⅠ～Ⅵ」の単位を全て修得し、総単位数で98単位以上を修得していなければならない。

【学外単位認定制度】

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。また、これらの科目は各年次の履修制限単位数には含めない。

- 本学が主催、または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

【卒業要件】

- 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

授業科目	共通科目							専攻科目							合計			
	FYS	外国語科目	教養系科目				共通科目合計	基礎科目			必修科目	選択必修科目	選択科目			専攻科目合計		
			キャリア形成科目	人文の分野	社会の分野	自然の分野		健康科学の分野	必修科目	選択必修科目			選択科目	A群 (情報理工学)			B群 (最適化科学)	C群 (知能社会システム)
入学年度																		
2006から2008年度入学	2	4		4	6	4	28	10	12		24	8	10	8	10		96	124
			8										14					

- 外国語科目としては、必修科目としての英語を4単位修得しなければならない。
- 選択科目から次の単位を含めて42単位以上を修得しなければならない。
 - A群から10単位以上。
 - B群から8単位以上。
 - C群から10単位以上。
 - 上記(1)～(3)の他に選択科目から14単位以上。
- 専攻基礎科目で「卒業要件単位数」を超える単位は、関連科目の単位に換算できる。
- 他学部、他学科開講の専攻科目及び同一言語同一名称の科目をⅠ・Ⅱのペアで修得した(必修以外)外国語科目は関連科目に換算できる。
- 関連科目は上記4、5の単位を含めて、4単位までを、上記3(4)の選択科目の単位に換算できる。

教育課程における標準年次の区切線について

- 標準年次が実線(——)で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できません。
- 標準年次が破線(……)で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できますが、[履修要件]等にしたがって履修できない授業科目もありますので注意してください。